さくらであい館🌸冬の星空観察シート

2020年12月～2021年3月版

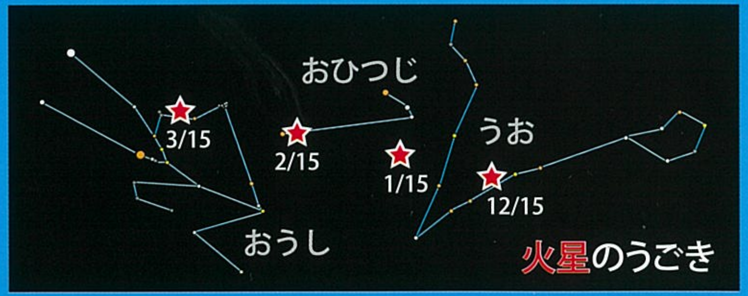
この星図の中心が真上（天頂）になります

12月の22時頃・1月の20時頃・2月の18時頃に
さくらであい館からみることができる星空です

見たい方角を向き少し見上げるようにして、この図と実際の方角を合わせると星座のだいたいの位置がわかります

まどわす星にまどわされないで!

惑（まど）わす星（ほし）...その正体は火星（かせい）です



TRIVIA!

火星の地表には大量の酸化鉄（赤さび）が含まれます。そのため太陽の光を受けて赤くかがやきます。

3月頃、火星はおうし座に近づきます。おうし座の1等星 アルデバランと明るさも色も似ています。

まどわされないでね!!

冬の星座 たどりかた

まず最初にオリオン座をみつけます。3個の2等星が並んだオリオンの三ツ星を中心にその周りを4個の明るい星が取り囲んでいます。オリオン座には2個の1等星があります。左上の赤い星がベテルギウス。右下の青白い星がリゲルです。オリオン座がみつけられない場合、ほとんどは大きさを間違えています。オリオン座はとても大きな星座です。ベテルギウスとリゲルは手のひらをしっかり広げて腕をのばしたときの親指の先と小指の先くらいの距離があります。オリオン座をみつけたら、そこから冬の星々をたどっていきましょう。オリオンの三ツ星を使って次の明るい星を探します。三ツ星をその並びに沿って左側に伸ばしていくととても明るい星が見つかります。全天で一番明るい恒星、おおいぬ座のシリウスです。そのシリウスと先ほどのベテルギウスを結んだ線を正三角形の底辺としてその左側に三角形の頂点となる星を探します。その星がこいぬ座のプロキオンです。シリウス・プロキオン・ベテルギウスと3つの星をつないで出来上がった三角形が「冬の大三角」です。きれいな正三角形ですね。次に「冬のダイヤモンド」をみつけましょう。亀甲形の六角形をイメージしてください。今度はオリオン座のリゲルからスタートします。リゲル、次に冬の大三角にも登場したシリウス、そしてプロキオンとつなぎ、そのまま視線をその先に進めると明るい星が2つみつかります。ふたご座のカストルとポルックスです。右側が双子のお兄さんカストルで2等星。左側が1等星、弟のポルックスです。ポルックスはオレンジ色、カストルは白色と星の色でも識別できます。日本では古くからこの兄弟星を金星・銀星と呼んでいます。プロキオン、そしてポルックスとつないで、次は六角形の頂点に位置するぎょしゃ座のカペラを探します。黄色く輝いています。そして六角形の最後の星、おうし座のアルデバランをつないでください。アルデバランをみつけづらい場合はオリオンの三ツ星をシリウスの時とは逆の方向、右側に伸ばします。そしてオレンジ色の明るい星がみつかればその星がアルデバランです。

ミッション その1

冬の星座をたどれ!

冬を代表する6つの星座には、全天で21個しかない1等星に分類される明るい星が7つあります。
6つの星座とは、オリオン座・おおいぬ座・こいぬ座・ふたご座・ぎょしゃ座・おうし座です。
7つの1等星のうちの3つを使った星並び「冬の大三角」そして6つを使った「冬のダイヤモンド」をみつけて、冬の星座をたどってみましょう。

ミッション その2

清少納言もイチオシ すばるをさがせ!

平安時代に書かれた清少納言の随筆「枕草子」には...「星はすばる、ひこぼし、ゆふづつ」と記されています。現代の言葉に直すと「星といえば、すばる。そして彦星（織姫星という説もあり）。宵の明星（日没後の金星）もいいなぁ」という感じでしょうか。肉眼でもいくつかの星の集まりをご覧いただけます。双眼鏡での観察もオススメです。

ミッション その3（12月限定）

ノーザンクロスをみつけろ!

クリスマスの19時頃、西北西の空、少し見上げたあたりに十字架の形をした星並びをみつけることができます。
この星並びは南半球で見られる南十字星（サザンクロス）に対して北十字（ノーザンクロス）と呼ばれます。
ホワイト・クリスマスも魅力的ですが、もし晴れていればノーザンクロスをみつけてみましょう。北十字座という星座はなく、はくちょう座の一部が十字架に見えています。

ー この冬、ぜったいに見逃せない天文ピックス ー

ふたご座流星群オススメです!!

流星群はどこで観察すればいいの？

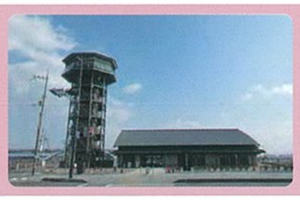
・できるだけ人口の明かりが少ない場所を選びましょう
・できるだけ空が広く見渡せる場所を得選びましょう
・できるだけ安全でゆっくりと落ち着いて見られる場所を選びましょう

12/6 「はやぶさ2」地球帰還
12/13の夜半前から14の明け方 ふたご座流星群が極大（第1候補）
12/14の夜から15の明け方 ふたご座流星群が極大（第2候補）
1/3の夜半前から4の未明 しぶんぎ座流星群が極大

【お問い合わせ】

YODOGAWA SANSEN 淀川三川合流域 さくらであい館

〒614-8307 京都府八幡市八幡在応寺 TEL 075-633-5120 FAX 075-950-2953
※利用時間：さくらであい館（館内・駐車場）、背割堤地区駐車場共に17時まで



八幡市の日の出と日の入り時間（月齢） [2020/12/15 06:56 - 16:49 (0.4)] [2021/1/15 07:03 - 17:11 (1.9)] [2/15 06:42 - 17:41 (3,3)] [3/15 06:07 - 18:06 (1.7)] [4/15 05:24 - 18:31 (3.0)]

制作/監修：科学普及支援団体 てんもんぶ